

議会と語ろう会 実施報告書

開催日時	令和7年2月8日（土） 午前10時00分 ～ 午後0時17分			
開催場所	条南コミュニティプラザ ホール			
出席議員 （16人）	八十嶋孝司	竹内 竜也	池野 翔吾	柴田 洋一
	東 克彦	中島 敏勝	小倉 一郎	小町 実
	西村 稔	酒井 義光	塩谷 道子	多賀 吉一
	向 正則	道下 政博	谷口 正一	河上 孝夫
役割分担	① 受付 ： 東議員・柴田議員 ② 司会 ： 池野議員 ③ 議会報告 ： 酒井総務産業建設常任副委員長・西村文教生活福祉常任副委員長 ④ パソコン操作： 中島議員 ⑤ マイク係 ： 東議員・柴田議員 ⑥ 意見交換進行： 谷口議員・道下議員・向議員・多賀議員 酒井議員・八十嶋議長 ⑦ 意見交換書記： 小町議員・小倉議員・中島議員・東議員 柴田議員・池野議員 ⑧ 意見交換補佐： 河上議員・塩谷議員・西村議員・竹内副議長 ⑨ 報告書作成 ： 小町議員・小倉議員			
参加町民人数	35人			
実施内容報告	(1) 開会（10：00～） 開会の挨拶 (2) 議会と語ろう会（10：10～） 第1部：議会報告 ・議員の紹介 ・委員会審査の報告（総務産業建設常任委員会、文教生活福祉常任委員会） ・大規模災害における議会の対応（議長）（10：19～） ・質疑応答（10：24～10：47） 第2部：意見交換会（10：54～12：13） ・意見交換、意見の発表 (3) 閉会の挨拶 閉会（12：17）			
意見・提言等	事前質問および意見交換会における意見・提言等（別紙参照）			
その他	アンケート結果（別紙参照） 配布物：資料、アンケート、お茶			

令和7年2月17日

津幡町議会議長 八十嶋孝司 様

津幡町議会議員 小町 実
津幡町議会議員 小倉 一郎

議会と語ろう会

開催前に議会のしくみや各委員会など議会広報などの紹介映像

1. 開会のあいさつ 津幡町議会 議長：八十嶋孝司

2. 第1部 議会報告会 10:04～10:47

◎議員紹介・各議員あいさつ

◎委員会審査の内容

①総務産業建設常任委員会 副委員長：酒井 義光 10:10～

ア 津幡駅周辺地区都市再生整備計画事業費（2億1,202万円）

東西自由通路（跨線橋）整備事業ほか

イ 庁内防犯カメラ設置費用（326万5千円）

カスハラ対策として役場庁舎内・文化会館シグナスに防犯カメラを設置

②文教生活福祉常任委員会 副委員長：西村 稔 10:15～

ア 地球温暖化対策費（1,037万2千円）

再生可能エネルギー導入促進補助金等

イ 学校給食費助成金（2,123万3千円）

物価高騰による給食費の一部助成金の増額補正

③大規模災害時における対応（議会） 議長 八十嶋孝司 10:19～

令和5年豪雨災害による浸水被害・令和6年能登半島地震における対応

④質疑応答 10:24～10:47

「道路陥没の対応は」

「豪雨時の河川対策」

「人手不足による町道法面の除草」

「枯草の処分方法は」

「通学路の安全確保」

「まちづくり美化作戦のあり方」

「各自の防災意識の向上を」

「行政窓口の対応について」など

< 休憩 > 10:47～10:54

3. 第2部 意見交換会

意見交換 10:54 ～ 11:45

意見の発表 11:45 ～ 12:13

【1班】 進行：酒井議員 書記・発表：池野議員

① 防 災

- ・昔からの農地を宅地造成した結果、多くの水路の形状が現況に合っていないのではないか。また、多数の道路の陥没箇所により水が流れ込むことによる被害拡大が心配。
- ・家の近くにある消火栓を使用した訓練ができればよい。
- ・高度成長期やバブル期に丘陵地を開発して行われた宅地造成において、当時作られたコンクリート擁壁の状況について、町は真摯に相談に応じてほしい。

② 定住促進

- ・子育て世帯に、さらなる町税の軽減を図れば、子育て支援にもつながる。
- ・津幡駅と倶利伽羅駅の間に新駅を設置することで、倶利伽羅不動寺をはじめとする観光振興と新たな宅地開発が期待できる。

③ 子育て支援

- ・子育て世帯に1,000万円の助成金を交付する。
- ・放課後児童クラブの充実を図るため、運営を公営化に。

④ 地域コミュニティのあり方

- ・高齢者のコミュニティづくりの場として、空き家を利用する。
- ・グラウンドゴルフ場をもっと作ってほしい。
- ・町長と語る会を開いてほしい。
- ・新興住宅では、地域の役員になりたくない者や顔が分からない若者が多い。

⑤ その他

- ・中条公園の除草回数を増やしてほしい。
- ・津幡駅前駐輪場の放置自転車が多い。
- ・公金の執行が適正に行われているのか。

【2班】 進行：多賀議員 書記・発表：東議員

① 防 災

- ・企業、地域や家庭、それぞれで防災教育も必要だが、親子での防災教育を進めていけるような地域づくりが必要だ。

② 定住促進

- ・さまざまな補助制度のさらなる充実を。
- ・空き家のマッチングシステムを充実せよ。
- ・転入者をよそ者扱いしない

③ 子育て支援

- ・地域ごとの集まりよりも同じ価値観を持つ者同士の集まりが大事になってくる。
- ・子育てに関する補助制度の拡充を。

④ 地域コミュニティのあり方

- ・子どもや若者向けのイベントの開催。
- ・商業施設の充実を望む。

⑤ その他

- ・休耕田をまとめて大型化し、企業に耕作してもらう。
- ・地区対抗の社会体育大会を誰もが楽しめるような内容に見直す。

【3班】 進行：道下議員 書記・発表：小倉議員

① 防災

- ・備蓄倉庫の鍵の保管場所を明確にしないと、災害時に備蓄品を使えなかった。
- ・津波警報発令時に避難のためシグナスに向かったが、町の職員がいなかったため、役場まで避難した。
- ・避難場所や避難所がどこにあるのかを住民に知ってもらうことがまず大前提だ。
- ・豪雨と地震の2度の災害を経験したが、町民の防災意識を高める取り組みが必要だ。

② 定住促進

- ・K市の人口、世帯数が増えており、同程度以上の施策を展開しないと、K市に人口が流れるのは必然だ。
- ・働き場所を確保するために、もっと企業誘致を進めてもらいたい。
- ・星稜大学スポーツキャンパス周辺の農振地域を除外し、さらに開発を進める。

③ 子育て支援

- ・子育てに関する手厚い補助制度を求める。具体的には、放課児童クラブの充実や、なかなか子どもに恵まれない人たちに対し、さらなる金銭的な援助があってほしい。

④ 地域コミュニティのあり方

- ・地域、行事などへ積極的に参加することが大切だ。
- ・地域の体育大会や祭りへの参加が、輪を広げる第一歩ではないか。

⑤ その他

- ・犯罪抑止のためにも地域に防犯カメラを設置すればどうか。
- ・アザレアの町民料金を設定してもらいたい。

【４班】 進行：八十嶋議長 書記・発表：柴田議員

① 防 災

- ・津幡南中学校周辺に総合防災センターを建設し、その倉庫に食料品を備蓄してもらいたい。
- ・町全戸に配布されたハザードマップを見るよう喚起してほしい。
- ・防災意識向上に繋げるため、災害ボランティアへの関心や、地区近所の防災意識を高める取り組みの必要性について、町からの働きかけが必要だ。

② 定住促進

- ・津幡駅東口の完成により、人口増を目指すため、星稜大や高専の学生が働けることのできる企業誘致を進める。
- ・中条地区を学びや学園の地域とするまちづくりを推進する。
- ・河北潟などの地域の財産を活かした取り組み。
- ・津幡駅周辺の道路と歩道を拡幅するなど、高齢者が安心できる環境整備を。

③ 子育て支援

- ・町の子育て支援施策の拡充を求める声と現状で満足しているという意見あり。
- ・見守りも含め、子育てを地域ぐるみで行える仕組みづくりをする。
- ・特別支援学級などの一覧表を作成し、保護者が情報を入手できるようにしてもらいたい。

④ 地域コミュニティのあり方

- ・昔開催していた「明日の中条を考える会」が復活できたらよいと思う。
- ・社会体育大会などを防災関係の勉強ができるような場にしてはどうか。
- ・一人暮らし高齢者世帯の安否確認を郵便局など配達員などの協力を得られるような仕組みはどうか。

⑤ その他

- ・新河北中央病院は、中条地区に建設してもらいたい。

【５班】 進行：向議員 書記・発表：中島議員

① 防 災

- ・防災士の人数が少ないので資格取得を促す。
- ・依然として、道路補修の必要な箇所が多数ある。
- ・黄色い旗を活用して高齢者の安否が確認できる仕組みづくり。

② 定住促進

- ・定住促進だけに限らず各種支援制度の周知やPR方法に工夫が必要。ホームページでの内容だけでは理解しにくい人もおり、紙媒体の活用も必要ではないか。

③ 子育て支援

- ・子ども食堂や困窮されている子どもへの配慮。
- ・放課後児童クラブは無料ではなく金銭の負担がある。
- ・祖父母と同居していれば学童クラブが必要ない。そういう地域もある。

④ 地域コミュニティのあり方

- ・公民館で、いろいろなイベント情報を聞いて参加する。
- ・健康イベントに参加することで、自分の健康意識の向上を図る。
- ・除雪、草刈りなどでコミュニティづくりにつなげる。

⑤ その他

- ・河北中央病院の充実を望む。
- ・桜並木、メタセコイヤ、野菜の栽培や小市場などの資源を活かした河北潟の活用。

【6班】 進行：谷口議員 書記・発表：小町議員

① 防 災

- ・道路の陥没やひび割れ等の箇所が非常に多く、しっかりとした対策をして早期に復旧をしてもらいたい。
- ・潟端地区では、河北潟の治水対策として大きいポンプを導入したが、大きな雨での排水能力が不足している。

② 定住促進

- ・星稜大学スポーツキャンパスの整備も進んでおり、津幡駅東口ばかりではなく、駅周辺施設も含めた西口の再開発も必要だ。
- ・結婚に向けたマッチングの支援をすればどうか。
- ・宅地開発をするために農振除外を促進させる。
- ・一人暮らしの女性のための除雪や除草などのサポートができるコミュニティがあればよい。

③ 子育て支援

- ・中条地区だけではなく町全体に医療機関が少なくなっており、医療機関の誘致を考えてほしい。

④ 地域コミュニティのあり方

- ・グラウンドゴルフ場を近く（中条地区）に作ってもらいたい。
- ・町道のり面の草刈りを営農者に任せるのではなく、町でも対応してもらいたい。

⑤ その他

- ・北陸新幹線の敦賀以西の早期着工
- ・早期に狭い道路の融雪装置の整備をお願いしたい。

4. 閉会のあいさつ 津幡町議会副議長 竹内 竜也



2025.2.8 議会と語ろう会(中条地区) アンケート集計

回答数 32/35(人) 回答率 91%

問1 年齢

①19歳以下	0人
②20代	1人
③30代	1人
④40代	1人
⑤50代	2人
⑥60代	9人
⑦70代	14人
⑧80歳以上	4人
無回答	0人

問2 お住まいの地区

①津幡地区	1人
②中条地区	29人
③笠谷地区	0人
④井上地区	0人
⑤英田地区	2人
⑥河合谷地区	0人
⑦倶利伽羅地区	0人
⑧町外	0人
無回答	0人

問3 議会と語ろう会の開催は何でお知りになりましたか(複数回答可)

①案内チラシ	13人
②議会だより	11人
③ホームページ	1人
④ポスター	2人
⑤回覧板	4人
⑥ライン(LINE)	1人
⑦その他	10人
無回答	0人

問4 議会と語ろう会の参加は

①はじめて	31人
②()回目	0人
無回答	1人

問5 今回の議会と語ろう会について

(1)第1部:議会報告の内容および資料(議会・委員会審査について)

①わかりやすい	17人
②わかりにくい	2人
③どちらともいえない	10人
無回答	3人

(2)第2部:意見交換会の内容

①とてもよかった	11人
②よかった	18人
③あまりよくなかった	0人
無回答	3人

(3)議会と語ろう会の時間

①長い	0人
②短い	3人
③ちょうどよい	27人
無回答	2人

(4)議会と語ろう会の総合的な評価

①評価する	27 人
②評価しない	0 人
③どちらともいえない	3 人
無回答	2 人

(5)議会と語ろう会にまた参加したいですか

①参加したい	10 人
②参加しない	0 人
③どちらともいえない	1 人
無回答	21 人

問6 広報「議会だよりつばた」で注目している記事はありますか(複数回答可)

①表紙	1 人
②決算審査	6 人
③10・12月会議	4 人
④委員会審査	6 人
⑤請願・討論	10 人
⑥一般質問	11 人
⑦採決結果	6 人
⑧県外視察研修	2 人
⑨裏表紙	0 人
無回答	0 人

問7 本日の感想や議会、議会だよりへのご意見、ご提言をご記入ください。

議会と語ろう会は、とても有意義なものだと改めて実感しました。そこには今回出会った議員各位の働きがあります。今後とも力を合わせてよろしくお願いします。

多くの意見がありよかった。場所が狭いのか雑音が多かった。時間がなかった。

チャットで参加できるようにしてほしい。

若い人のグループで、新鮮な意見があり面白かった。

まちづくり協議会の発足に伴う法整備に早急に取り組んでください。(コミュニティセンター設置条例の制定等)

議会議員と意見交換できるいい機会である。
議会だより、SNSにも力を入れ、ペーパーレスにも取り組んでほしい。

初めて参加させていただきました。とても良かったです。次回も参加したいです。

直接、意見交換ができてよかった。議会だよりの内容をさらに充実してほしい。

企業誘致は諸刃の刃である。

初めて参加したが、大変よかった。町の方向性が理解できた。

(その他、幅広いご意見をいただきました。)

問8 議会だよりで読みたいテーマや内容がありましたらご記入ください。

もっと議会内容を細かく知りたい。駅東口の完成をもっと早くしてほしい。

津幡駅開発について広報つばたに詳しく写真、設計図を載せてほしい。
駅周辺の墓地計画、水路の新規計画

星稜大学のキャンパスに係る工事の進捗状況
津幡駅の東口の開発のスケジュールの明確化
公的病院の設置のスケジュールの明確化
津幡町内の人口4万人構想の実現性

あの質問のゆくえはよい。
今日的な問題を経年で追及して行ってほしい。

将来のまちづくりの意見募集をしてほしい。
優秀作品を必ず採用してほしい。

町内の防災(がけ崩れ危険箇所対応)
各危険箇所に対する町対応詳細の発信

(その他、幅広いご意見をいただきました。)